

aG 健保ニュース

決算号

令和
6
年度

事業報告と決算について

去る7月18日に開催された組合会にて承認され、決定された内容をお知らせします。

総収入	61億8,869万円
総支出	54億8,205万円
収入支出差引額	7億665万円

事業報告

令和6年度に実施された主な事業は次の通りで、概ね計画通り実施されました。また、ICTを活用した健保DX化を進めることで、紙でお配りしていたものを健幸マイポータルでご確認いただけるようになっています。

- データヘルス計画第3期で策定した計画通り、特定健診・特定保健指導を着実に実施し、実施率を向上させました。また新たな取組として、歯科受診勧奨、生活習慣病の受診勧奨、大腸がんの受診勧奨、ポリファーマシー通知などの取組を開始しました。
- 給付では複数人体制を構築し、より正確で着実な業務処理を行っています。
- 適用では、保険証が新規発行停止となり、資格情報のお知らせの配布、健幸マイポータルでの公開を開始しています。また保険証の廃止に伴い、資格確認書の交付を行っています。

健康保険の基本となる業務を着実に進め、健康に対する予防事業を推進することで、みなさまの健幸で生き活きた生活を支援してまいります。

決算

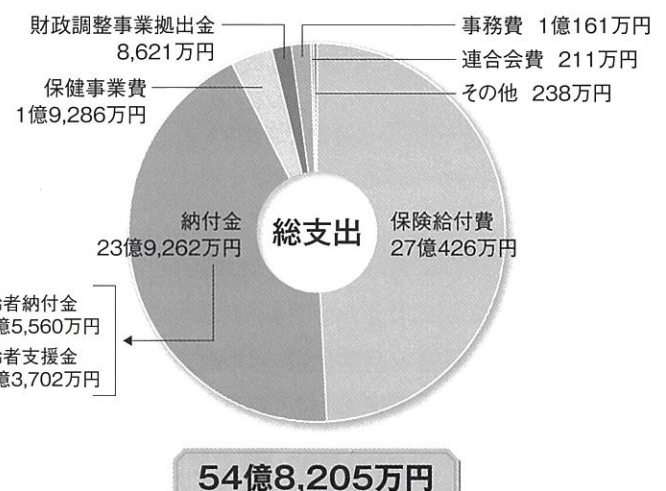
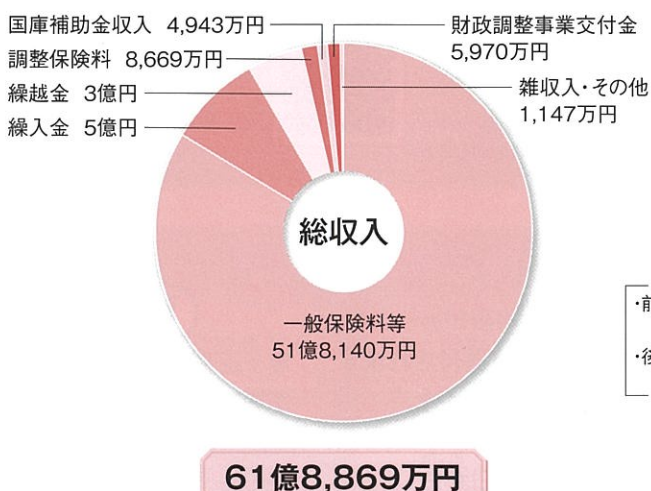
令和6年度の一般勘定は、令和5年度に増大した医療費が前年並みに推移したことで、経常損益ではマイナス（赤字）となりました。これは令和5年度に引き続き2年連続での赤字となります。

- 収入では、事業所の業績が好調なため、保険料収入が対前年度比159百万円増となりました。
- 支出では保険給付費の増加を、令和6年度も予想していましたが、前年度とほぼ変わらずの2,704百万円となりました。納付金／支援金については総報酬の上昇により、前年度比+200百万円で2,392百万円と増加しています。

現状では積立金を取り崩すことにより健保運営が行えておりますが、このまま納付金／支援金や保険給付が増大していけば、健康保険料率の見直しも行う必要がでてくるのが想定されます。

ご加入のみなさまのご理解・ご協力を得ながら、加入の事業主との協働によりデータヘルス計画を推進し、健幸増進、医療費の適正化を着実に実行してまいります。

一般勘定 令和6年度収入支出決算



介護勘定 令和6年度収入支出決算

総報酬制が導入されたものの、納付金金額は前年度比▲5百万円となったため、決算残金が84百万円となりました。

収入

項目	金額
介護保険料	8億4,704万円
合計	8億4,704万円

支出

項目	金額
介護納付金	7億6,236万円
介護保険料還付金	26万円
合計	7億6,262万円